

## 2 野菜

### 1) 使用方法

区分	除草剤名	HRAC コード*	備 考
きゅうり	クレマート乳剤 (ブタホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クレマートU粒剤 (ブタホス粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 砂土～砂壤土での使用はさける。 ○ 地這栽培では使用しない。 ○ 直播では、播種後の覆土を厚くし、まきつぼをおがくず、切りわらなどで覆った後に土壌全面に散布する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	バスタ液剤 (ゲルホネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
トマト	クレマートU粒剤 (ブタホス粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	センコル水和剤 (トリブジン水和剤)	5	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 有機含量の低い土壌や砂質土壌では薬害を生ずるおそれがあるので使用しない。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒剤 2.5 (トリフルリン粒剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。 ○ 完全に枯殺するまで7～10日を要する。
	バスタ液剤 (ゲルホネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ワンサイドP 乳剤 (フルアジホップP乳剤)	1	○ 遅効性のため、イネ科雑草が完全に枯死するまで約3週間程度かかる。 ○ 作物の生育期散布で低温・寡照の場合、褐斑やクロロシスを生じることがあるので、使用量は少なく、希釈水量を多くする。 ○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)、シバムギ、レッドトップ

区分	除草剤名	HRAC コード <sup>※</sup>	備 考
ミニトマト	トレファノサイド乳剤 (トリフルアリン乳剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	バスタ液剤 (ガルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
ピーマン	トレファノサイド乳剤 (トリフルアリン乳剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	バスタ液剤 (ガルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
なす	クレマート乳剤 (ブタホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルアリン乳剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 葉害のおそれがあるので、定植3日前までに使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒剤 2.5 (トリフルアリン粒剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 定植前に使用する場合は葉害のおそれがあるので、定植3日前までに使用する。 ○ 作物にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	バスタ液剤 (ガルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
いちご	クロロIPC (IPC乳剤)	23	○ 砂質土では使用しない。 ○ 気温20℃以下の時期に使用する。 ○ 1年生雑草
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。 ○ イネ科雑草を完全に枯殺するまで7～10日を要する。
	バスタ液剤 (ガルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ラッソー乳剤 (アラクロール乳剤)	15	○ 雑草発生前の土壌処理剤 ○ 本圃では株間処理が安全。 ○ 発芽直後のキュウリ・ネギにかからないように散布する。 タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るのでイネ科 ○ 雑草優占圃場で使用する。 ○ 1年生雑草
	レンザー (レナシル水和剤)	5	○ 処理後6か月以内に、イネ科、マメ科、ウリ科、ナス科及びアブラナ科は栽培しない。 ○ 畑地1年生雑草
	ワンサイドP乳剤 (アラジホップP乳剤)	1	○ 親株床のみ登録。 ○ 遅効性のため、イネ科雑草が完全に枯死するまで約3週間程度かかる。 ○ 作物の生育期散布で低温・寡照の場合、褐斑やクロロシスを生じることがあるので使用量は少なく希釈水量を多くする。 ○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)、シバムギ、レッドトップ

区分	除草剤名	HRAC コード <sup>※</sup>	備 考
とうもろこし	MC P ソーダ塩 (MCPAナトリウム塩液剤)	4	○ 1年生及び多年生広葉雑草 ○ 高温条件下では薬害が発生しやすいので、異常高温下での散布はさける。 ○ スーパースイート系には薬害を生じる場合があるので使用はさける。
	ゴーゴーサン 乳剤 (ペンデメタリン乳剤)	3	○ 全土壌で使用できる。 ○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン細粒剤F (ペンデメタリン粉粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ マルチ栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用しない。 ○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゲザガード50 (プロメリン水和剤)	5	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ 畑地1年生雑草
	デュアール ゴールド (S-メトラコロール乳剤)	15	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ イネ科雑草優先圃場で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ 1年生雑草
		15	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ イネ科雑草優先圃場で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ 1年生イネ科雑草
	バサグラン液剤(ナトリウム塩) (ベンタグリン液剤)	6	○ 広葉雑草に効果がある。 ○ 1年生雑草(イネ科を除く)
	モーティブ乳剤 (ジメナミトP・ペンデメタリン乳剤)	15/3	○ 砂土では使用しない。 ○ 1年生雑草
	ラッソー乳剤 (アラクロール乳剤)	15	○ 発芽直後のキュウリ・ネギにかからないように散布する。 ○ タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るので、イネ科雑草優先圃場で使用する。 ○ 1年生雑草
	ロロック (リネロン水和剤)	5	○ 砂土では使用しない。 ○ スーパースイート系には薬害を生じる場合があるので使用はさける。 ○ 1年生雑草
さやえんどう	バサグラン液剤(ナトリウム塩) (ベンタグリン液剤)	6	○ イネ科雑草には効果がない。 ○ 1年生雑草(イネ科を除く)
さやいんげん	デュアールゴールド (S-メトラコロール乳剤)	15	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ イネ科雑草優先圃場で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ 散布直後に降雨が予想される場合は使用をさける。 ○ 出芽直前の使用はさける。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 露地栽培のみで使用する。 ○ 薬害を生じやすいので、覆土深は2～3cmにする。 ○ 露地マルチ栽培では、播種部分のマルチ開孔後2～3日してから播種し、無処理の土で覆土する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒剤 2.5 (トリフルリン粒剤)	3	○ 薬害を生じやすいので、覆土深は2～3cmにする。 ○ 露地マルチ栽培ではマルチ開孔後2～3日して播種し無処理の土で覆土。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

区分	除草剤名	HRAC コード	備 考
そらまめ	クロロIPC (IPC乳剤)	23	○ 砂質土では使用しない。 ○ 気温20℃以下の時期に使用する。 ○ 1年生雑草
	シマジン (CAT水和剤)	5	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 1年生雑草
キャベツ	クレマート乳剤(ブタホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クレマートU粒剤 (ブタホス粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クロロIPC (IPC乳剤)	23	○ 砂質土では使用しない。 ○ 気温20℃以下の時期に使用する。 ○ 1年生雑草
	ゲザガード50 (プロトリン水和剤)	5	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 春～夏播き移植栽培で使用する。 ○ 高温時及び散布後高温が予想されるような条件下では薬害を生ずるおそれがあるので使用をさける。 ○ 畑地1年生雑草
	ゴーゴーサン乳剤 (ペンデメタリン乳剤)	3	○ セル成型苗には薬害を生じるおそれがあるので使用は避ける。 ○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン 細粒剤F (ペンデメタリン粉粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ セル成型苗には薬害を生じるおそれがあるので使用は避ける。 ○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	デュアール ゴールド (S-トラクロール乳剤)	15	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ イネ科雑草優占ほ場で使用する。 ○ 作物にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 播種直後の処理は直播栽培のみ。 ○ 苗床や直播のマルチ栽培では使用しない。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒剤 2.5(トリフルリン粒剤)	3	○ 雑草発生前に処理する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。
	バスタ液剤 (グリホシネート液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ラウンドアップマックス スロード (グリホサートカリウム塩液剤)	9	○ 作物にかからないように散布する。少量散布では専用ノズルを用いる。 ○ 1年生雑草
	ザクサ液剤(グリホシネート Pナトリウム塩液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草
ラッソー乳剤 (アラクロール乳剤)	15	○ 発芽直後のキュウリ・ネギにかからないように散布する。 ○ タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るので、イネ科雑草優占ほ場で使用する。 ○ 1年生雑草	

区分	除草剤名	HRAC コード <sup>※</sup>	備 考
はくさい	クレマト 乳剤 (ブタホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン 乳剤 (ペンデイメタリン乳剤)	3	○ 壤土～埴土で使用する。 ○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ セル成型苗には葉害が発生するおそれがあるので使用をさける。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 直播では露地栽培（無マルチ）で使用する。 ○ 雑草発生前に使用する。 ○ 作物にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
	トレファノサイド粒剤 2.5（トリフルリン粒剤）	3	○ 直播では露地栽培（無マルチ）で使用する。 ○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）にのみ殺草効果がある。
	バスタ液剤 (ガルシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩液剤)	9	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 少量散布では専用ノズルを用いる。 ○ 1年生雑草
	ラッソー乳剤 (アラコール乳剤)	15	○ 壤土～埴土で使用する ○ 発芽直後のキュウリ・ネギにかからないように散布する。 ○ タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るので、イネ科雑草優占ほ場で使用する。 ○ 1年生雑草
	クレマト乳剤 (ブタホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クロロIPC (IPC乳剤)	23	○ 砂質土では使用しない。 ○ 気温20℃以下の時期に使用する。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン 乳剤 (ペンデイメタリン乳剤)	3	○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ セル成型苗には葉害が発生するおそれがあるので使用をさける。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 露地栽培で使用する。 ○ 作物にかからないように散布する。 ○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
	トレファノサイド粒剤 2.5 (トリフルリン粒剤)	3	○ トンネル・マルチ栽培で使用する。 ○ 定植5日前までに使用する。 ○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
	バスタ液剤 (ガルシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草

区分	除草剤名	HRAC コード <sup>※</sup>	備 考
レタス	クレマート乳剤 (グァタホス乳剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 砂壤土～埴土で使用する。</li> <li>○ 雑草発生前に処理する。</li> <li>○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	クロロIPC (IPC乳剤)	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 砂質土では使用しない。</li> <li>○ 気温20℃以下の時期に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	ゴーゴーサン 乳剤 (ベンデメタン乳剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。</li> <li>○ セル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 露地栽培で使用する。</li> <li>○ 作物にかからないように散布する。</li> <li>○ 雑草発生前に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)</li> </ul>
	トレファノサイド粒剤 2.5 (トリフルリン粒剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ トンネル・マルチ栽培で使用する。</li> <li>○ 定植5日前までに使用する。</li> <li>○ 雑草発生前に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)</li> </ul>
	バスタ液剤 (ガルホソネト液剤)	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作物にかからないように散布する。</li> <li>○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
ほうれんそう	アージラン液剤 (アジウム液剤)	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 砂土での使用は避ける。</li> <li>○ 1年生、多年生雑草に効果がある。</li> <li>○ ヒユ科、アカザ科、カヤツリグサ科雑草及びザクロソウ、ツユクサ、ギョウギシバに対して効果が劣る。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	クロロIPC (IPC乳剤)	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 砂質土では使用しない。</li> <li>○ 気温20℃以下の時期に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。</li> </ul>
	ラッソー乳剤 (アラクロール乳剤)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 壤土～埴土で使用する。</li> <li>○ 発芽直後のキュウリ・ネギにかからないように散布する。</li> <li>○ タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るので、イネ科雑草優占ほ場で使用する。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	レンザー (レナシル水和剤)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 覆土深は1cm以上とする。</li> <li>○ 処理後6か月以内に、イネ科、マメ科、ウリ科、ナス科及びアブラナ科は栽培しない。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>

区分	除草剤名	HRAC コード <sup>※</sup>	備 考
たまねぎ	アクトノール 乳剤 (アイキニール乳剤)	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋まき移植栽培で使用する。</li> <li>○ イネ科雑草及びコニシキソウには効果が劣る。</li> <li>○ 早春期広葉雑草が大きくなるうち(雑草の発生揃～4葉期)に雑草の茎葉全体に付着するように均一に散布する。なお早春期であっても、異常に気温の高い場合には葉に小白斑点などの薬害を生じるおそれがあるので散布はさける。</li> <li>○ 畑地1年生広葉雑草</li> </ul>
	グラメックス水和剤 (シアジソン水和剤)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ツユクサには効果が劣る。</li> </ul>
	クレマート乳剤 (ファミホス乳剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋播き栽培で使用する。</li> <li>○ 砂壤土～埴土で使用する。</li> <li>○ 雑草発生前に処理する。</li> <li>○ 多年生及、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	クレマートU 粒剤 (ファミホス粒剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋播き栽培で使用する。</li> <li>○ 砂壤土～埴土で使用する。</li> <li>○ 雑草発生前に処理する。</li> <li>○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	クロロIPC (IPC乳剤)	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 砂質土では使用しない。</li> <li>○ 気温20℃以下の時期に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	ゴーゴーサン 乳剤 (ペンデイメタリン乳剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 苗床では使用しない。</li> <li>○ 移植栽培での登録。</li> <li>○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	ゴーゴーサン 細粒剤F (ペンデイメタリン粉粒剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋播き栽培で使用する。</li> <li>○ 砂壤土～埴土で使用する。</li> <li>○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
	トレファノ サイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本畑での登録</li> <li>○ 雑草発生前に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科・アブラナ科を除く)</li> </ul>
	トレファノサイド粒剤 2.5 (トリフルリン粒剤)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本畑での登録</li> <li>○ 雑草発生前に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)</li> </ul>
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。</li> </ul>
	バサグラン液剤 (ナトリウム塩) (ベンタリン液剤)	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直播栽培及び苗床では使用しない。</li> <li>○ 移植栽培に使用する。</li> <li>○ 1年生雑草(イネ科を除く)</li> </ul>
	バスタ液剤 (ガルホソート液剤)	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作物にかからないように散布する。</li> <li>○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>
モーティブ乳剤 (ジメナミトP・ペンデイメタリン乳剤)	15/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 砂土では使用しない。</li> <li>○ 1年生雑草</li> </ul>	

区分	除草剤名	HRAC コード	備 考
ねぎ	クレマート乳剤 (フタミホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クレマートU粒剤 (フタミホス粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン乳剤 (ペンテイメタリン乳剤)	3	○ 苗床では使用しない。 ○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン細粒剤F (ペンテイメタリン粉粒剤)	3	○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	コンボラル(トリフルリン・ペンテイメタリン粉粒剤)	3	○ 畑地1年生雑草(ツユクサ及びキク科を除く)
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒剤 2. 5 (トリフルリン粒剤)	3	○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	ナブ乳剤(セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)
	バスタ液剤 (グルホシネート液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壤に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ロロックス (リニロン水和剤)	5	○ 露地栽培で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ 作物にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草
ザクサ液剤 (グリホシネートPナトリウム塩液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草	
にら	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く) にのみ殺草効果がある。
	ロロックス (リニロン水和剤)	5	○ 本ぼで使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ 1年生雑草

区分	除草剤名	HRAC コード <sup>※</sup>	備 考
ばれいしょ	グラメックス水和剤 (シアナジン水和剤)	5	○ 植付後なるべく早く散布する。 ○ ツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クレマート乳剤 (フタミホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン乳剤 (ペンテメタリン乳剤)	3	○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	センコル水和剤 (トリブジン水和剤)	5	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 品種（メークイン等）によっては薬害のおそれがあるので萌芽前に処理する。特に採種用ばれいしょではウイルス病との混同をさけるため必ず萌芽前までに散布する。 ○ 1年生雑草
	デュアールゴールド (S-トラクロール乳剤)	15	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ イネ科雑草優占ほ場で使用する。 ○ 1年生雑草
	ナブ乳剤 (セキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）にのみ殺草効果がある。
	バスタ液剤 (ケルボネート液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	モーティブ乳剤 (ジメナミトP・ペンテメタリン乳剤)	15/3	○ 砂土では使用しない。 ○ 1年生雑草
	レグロックス (ジクワット液剤)	22	○ 非選択性接触型茎葉処理除草剤 ○ 1年生雑草
ロロックス (リニロン水和剤)	5	○ 砂土では使用しない。 ○ 1年生雑草	
さといも	クレマート乳剤 (フタミホス乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	クレマートU粒剤 (フタミホス粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 雑草発生前に処理する。 ○ 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	ゴーゴーサン乳剤 (ペンテメタリン乳剤)	3	○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	コンボラル (トリフルリン・ペンテメタリン粉粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 畑地1年生雑草(ツユクサ及びキク科雑草を除く)
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒剤 2. 5 (トリフルリン粒剤)	3	○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科・アブラナ科を除く)

区分	除草剤名	HRAC コード	備 考
さといも	デュールゴールド (S-メトラコロール乳剤)	15	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 砂土では使用しない。 ○ イネ科雑草優占ほ場で使用する。 ○ 1年生雑草
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。
	バスタ液剤 (ゲルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
だいこん	トレファノサイド乳 剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 露地栽培で使用する。 ○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。
	バスタ液剤 (ゲルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ラッソー乳剤 (アラコロール乳剤)	15	○ 壤土～埴土で使用する。 ○ 発芽直後のキュウリ・ネギにかからないように散布する。 ○ タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るので、イネ科雑草優占ほ場で使用する。 ○ 1年生雑草
にんじん	カイタック乳剤(ペンテ イメタリン・リニロン乳剤)	3/5	○ 1年生雑草
	クロロIPC (IPC乳剤)	23	○ 砂質土では使用しない。 ○ 気温20℃以下の時期に使用する。 ○ アカザ・キク科雑草の優占する圃場では効果が劣る。 ○ 低温時に高薬量で使用すると薬害を生じるので、冬播き、春播き及び晩春播き栽培では薬量300mℓ/10aで使用する。 ○ 1年生雑草
	ゲザガード50 (プロメトリソ水和剤)	5	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ 畑地1年生雑草
	ゴーゴーサン乳剤 (ペンテイメタリン乳剤)	3	○ イネ科及び広葉の1年生雑草に効果がある。キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。 ○ 1年生雑草
	コンボラル (トリフルリン・ペンテイメタリン 粉粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ トンネル栽培では使用しない。 ○ 畑地1年生雑草(ツユクサ、キク科を除く)
	トレファノサイド乳 剤(トリフルリン乳剤)	3	○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	トレファノサイド粒 剤2.5 (トリフルリン粒剤)	3	○ 雑草発生前に使用する。 ○ 1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 1年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)にのみ殺草効果がある。
	バスタ液剤 (ゲルホシネット液剤)	10	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	ロロックス (リニロン水和剤)	5	○ 砂土では使用しない。 ○ にんじんの発芽直後～3葉期未満まで使用しない。 ○ にんじんの生育期に使用する場合、事前に使用品種における薬害の有無を確認する。 ○ 高温時に使用しない ○ 1年生雑草

区分	除草剤名	HRAC コード	備 考
せり	ナブ乳剤 (セトキシム乳剤)	1	○ 水田1年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）
	バサグラン液剤 (ナトリウム塩) (ベンタゲン液剤)	6	○ 1年生雑草（イネ科を除く） ○ 落水状態にし水の出入りを止め、均一散布する。 ○ 散布後7日間は落水しない。 ○ 高温乾燥条件下では薬害の発生（葉枯、褐変症状）
えだまめ	バスタ液剤 (ゲルホネート液剤)	10	○ 作物の茎葉に飛散しないように散布に注意する。 土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草全体にかかるように散布する。 ○ 1年生雑草
	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン乳剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ マルチ栽培では使用しない。 ○ 播種後出芽前散布では、覆土を3cm以上にする。 ○ 1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く） ○ 本剤2回以内、全面土壌散布は1回以内、畦間土壌散布は1回以内。
	トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルリン粒剤)	3	○ 砂壤土～埴土で使用する。 ○ マルチ栽培では使用しない。 ○ 播種後出芽前散布では、覆土を3cm以上にする。 ○ 1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く） ○ 本剤2回以内、土壌混和及び全面土壌散布は合計1回以内、畦間土壌散布は1回以内。
	ホーネスト乳剤 (テトラロキシム乳剤)	1	○ 広葉雑草及びカヤツリグサ科には効果が期待できない。 ○ 遅効性であり、イネ科雑草を完全に枯殺するまでに7～10日（スズメノカタビラは2～3週間）を要するので誤ってまき直しなどしないよう注意する。 ○ 1年生イネ科雑草
	ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩剤)	9	○ 作物にかからないように散布する。 ○ 少量散布では専用ノズルを用いる。 ○ 畦間処理では飛散防止カバーを使用しえだまめの茎葉にかからないように散布する。 ○ 1年生雑草